

ダイヤの道

karinomaki

支え

人は生きていく支えを探ることが必要だと思います。その支えとは何でしょうか。愛する人でしょうか。それとも精神的なものでしょうか。または物質的なものでしょうか。

私は支えを探すために哲学を始めました。そして、はっきりした支えが見つかったかという、まだ見つかっていないし、これから見つかるとも思えません。しかし、支えを探し続ける努力はずっとし続けようと思っています。見つからないとわかっていてもです。それがどうしてなのか、見つからないものを探し続けるのに意味はあるのかということを書いていこうと思います。それについて書くことは、哲学とは何かを書くことだと思うからです。

ダイヤの道

私は生きていることが苦しいと思うとき、支えをつかんで生きる道を、「ダイヤの道」と名付け、その道にのることを目指そうとしました。それは、ダイヤモンドがもし、本当に永遠の愛やきずなを示すならば、その愛ときずなは、その後の幸せな人生の道をつくってくれると思ったからです。支えはいろいろあると思うのですが、この文章では、この「ダイヤの道」を、人との出会いによってつくられるものとして、書いていきます。

出会い

私は今までたくさんの人と出会いました。恋のような気持ちも経験しました。ただ、誰かと結婚する気持ちはあまりありません。哲学と出会ってその気持ちがあまりなくなってしまったのです。

しかし、心が動く出会いは確かに今もあります。その出会いはある意味において人生の支えかもしれない。誰とも出会わないで紙とペンだけを見つめて生きることとは180度違う世界を、素晴らしい出会いは見せてくれるのです。

信念

しかし、支えというものは皮肉なもので、それを本当に支えにして寄りかかっていると、ポキッと折れてしまうことがあります。「ダイヤの道」は、ダイヤなのに、硬いものとは言えないのです。もし、本当に支えが欲しいなら、支えとは何かを真剣に考えるべきです。それは、人であり、心であり、物でもあるかもしれません。しかし、「支え」に、本当に自分を支える力をつけさせるには、自分に信念があるということが必要なのです。

もし、生き方というものに自分自身の信念がない状態で支えを探すと、どんなに大きな支えも本当の支えにはなってくれません。私は哲学とまだ出会っていない頃、ただ相手に自分を支えて欲しくて少し恋愛をしたことがあります。それは、相手を心から好きだという気持ちを抜かして、ただ自分を支えて欲しいという思いからでした。その恋愛はすぐにだめになりました。そのときの私には、自分の人生を生きる信念がなかったのです。

ソウルメイト

相手を好きになり、大切な人だと思うことは、信念だと思います。もしその気持ちを誰かに持つことができれば、その相手を恋愛対象だと思ってもいいし、またはそれに限定する必要はないのかもしれない。自分に信念があつてこそ、人を大切に思えるのなら、その人に頼りすぎることはありません。その相手をソウルメイトと思うといいのです。ソウルメイトとは、お互いとかかわることで魂を高めあつていく関係であり、夫婦はもちろんソウルメイトです。それだけでなく、友達や親子もそうです。ソウルメイトがお互いに魂を高めあうのに何が必要かと言えば、自分の生き方を高めていこうとする、信念だと思われませんか？

信念の道

ダイヤの道について、もう一度書きたいと思います。ダイヤの道とは、永遠の愛の道だけではなく、信念の道であると私は思います。心の中に、自分はどう生きたいか、何を守っていきたいか、確かな信念があれば、必ず魂を高めてくれる人（ソウルメイト）と出会えます。自分を磨くと出会えるということですね。私は哲学をするようになって、誰かに支えてほしいとあまり強く思わなくなりました。それは、私が強いからではなくて、心の中に道しるべができたからなのです。それは、支えを探す旅の道しるべです。心が苦しいとき、迷ったとき、誰かに、何かに助けてほしいと思うのは誰でもあたりまえです。支えてほしいと思うことは何も恥ずかしいことではありません。しかし、私はいい生き方がしたくて哲学をしています。信念を持ち続けるために哲学をしています。信念を持ちたいと思うことが、私の道しるべです。その道しるべは、困ったときに自分の全部の荷物を誰かに持ってもらうことを、思いとどまらせました。私は迷っても進んでいけるから大丈夫。ただ、誰かに荷を軽くしてもらうために少しだけ悩みを打ち明けたい・・・そう思って生きているうちに、人生を輝かせてくれる素晴らしい出会いがありました。それは、弱かった私を哲学が少しだけ強くしてくれたから引き寄せられた出会いだと思うのです。

哲学

哲学は私に強さを教えてくれて、支えを得ること以上に大切なことを教えてくれました。それは、探し続けることの強さです。哲学者のカントは、「哲学を学ぶのではなく、哲学することを学ぶのだ」と言っています。これは、「哲学」とは、哲学という完成された学問を学ぶものではなく、考え続ける、答えを探し続ける姿勢を学ぶものであるということです。本当の強さは努力し続けることの中にこそあって、支えをつかんでダイヤの道にのることではないのかもしれませんが。本当のダイヤの道は、「歩き続けること」（哲学することを学ぶ）が大切であり、「のる」（哲学を学ぶ）ものではないのですね。

自分を磨くといい出会いがある

人はダイヤの道という支えを探して自分を磨いて生きているのだと思います。自分を磨くといい出会いがあるとされていますが、本当のことだと思います。自分とひたすら向き合って生きてきた時間は決して無駄にはならず、きっと素晴らしい出会いに向かうための大切な時間です。哲学はどう生きるのかを考える学問です。見つからない支えを探すものなのかもしれません。しかし、間違いなく、大切なものをたぐりよせる、自分探しの旅、信念をつくる旅です。哲学にあまり興味を持たれていない方も、自分が大切にされているお仕事や、生きがいの中に、大切な信念をお持ちだと思います。それは、間違いなく哲学です。私は、そういう方々と出会って人生のすばらしさをたくさん学びました。これからも学び続けていきたいと思うのです。